日本呼吸療法医学会用語集公開にあたって

　このたび、日本呼吸療法医学会用語集を公開することになりました。本会は、麻酔科、集中治療、呼吸器科、胸部外科、救急医療といった幅広い診療領域に加えて、医師や看護師、臨床工学技士、理学療法士など、さまざまな職種の会員で構成されています。医学用語の標準化と統一は、このような領域の医療においては適切なコミュニケーションをとるうえで急務であると感じられていました。しかし、診療科や職種を超えて用語の統一を図ることは決して容易なことではありません。また、呼吸管理に関わる用語の一部は機器とともに次々と国外から入ってくるものであり、日本語訳が追いつかないものや、日本語訳をするとわかりにくいものもあります。

　今回の初版では、まず日本医学会と、その分科会である日本麻酔科学会、日本呼吸器学会、日本集中治療医学会、日本救急医学会の用語集から呼吸管理に関連する用語をピックアップしてみましたが、これでは呼吸管理に関係する用語は網羅されていません。そこで、臨床工学、看護、理学療法にて使用されている用語や日本医用機器工業会（JAMEI）にて提案された用語も参考にしてまとめました。漢字、カナ等の記載法については日本医学会用語集に準じて、一般医学用語は省いています。

　医学用語はなるべく統一しなければならないのですが、実のところ、学会間での統一が図られていない用語もあり、もっとディスカッションを必要とするものもあります。今回提示する用語集はあくまでも叩き台にすぎず、今後は会員諸氏の意見や批判を取り入れながら随時改訂を行う必要があると考えています。したがいまして、用語集の出版は冊子体ではなく、日本呼吸療法医学会のホームページ上での公開にとどめることにします。お気づきの点がありましたら、呼吸療法医学会事務局・用語委員会宛にメールでお知らせくだされば幸いです。

（2008 年 4 月　日本呼吸療法医学会用語委員会委員長　中沢弘一）